

THE Y'S MEN'S CLUB OF NASU NETWORK NASU

CHARTERED 1995



那須ワイズメンズク

2015~2016年度 No.199

8月 月報

那須クラブ会長 主題
拓こう 築こう ワイズの世界



強調月間：CS(地域奉仕活動)



7月例会(キックオフ例会) 7月22日(金)

2016~2017年度 主題
国際会長：(IP) Joan Wilson (カナダ)
「私たちの未来は、今日より始まる」
アジア地域会長：(AP) Tung Ming Hsiao(台湾)
「ワイズ運動を尊重しよう」
東日本区理事：(RD) 利根川 恵子(川越)
「明日に向かって、今日働こう」
北東部長：長岡 正彦(もりおか)
「明日のために、今土台を築こう」

クラブ役員 事務局
会長：田村 修也
副会長：村田 榮
書記：河野 順子
会計：荒井 浩元
担当主事：鈴木 保江
ブリテン：荒井 浩元
田村・村田

7月例会データー(出席率：83.3%)
在籍者 6名
例会出席者 5名 メネット 3名

今月の聖句
いかに幸いなことか、主を神とする国、主が嗣業として選ばれた民は。

詩編33:12

東京目黒クラブ 那須クラブ
8月 Happy Birthday
なし なし

巻 頭 言

会長 田村修也

8月がくるたびに

「8月がくるたびに」は児童文学者おおえひでさんの名著です。私は8月に入ると松谷みよ子さんの「二人のイーダ」と合わせて読むことが身についてしまっています。全ての人の読んで頂きたい本です。そしてもう一つ。8月になると「ゴジラ」の映画がテレビで放映になります。夏休みの子供向け番組と思っていました。でも原作者香山 滋著の「作者のことば」を読んで、認識を新たにさせられました。昭和30年代当時の本の巻頭言です。「読者のみなさんも、すでに御承知のように、この物語の主人公『ゴジラ』は、想像の上の大怪獣であって、じっさいには地球上のどこにもおりません。しかし『ゴジラ』に姿をかりている原水爆は、じっさいに作られていて、いつなんどき戦争目的に使われるかもしれません。そうなったら、東京、大阪どころではなく、地球全体が破滅してしまうでしょう。そのような恐ろしい、悲惨なことになるように、世界各国は、いっしょうけんめい、原水爆使用反対の猛烈な運動をおこしております。私も、その運動のひとつとして、小説の形式で参加したのが、この物語です。」この作者の祈りがあって、ゴジラの映画は今も制作され続けています。

「八月や六日九日十五日」と詠われていますが、8月は祈りの月であります。今から24年前、1992年に世界を結ぶ祈りという本が出版されました。ジョン・カーデンという方が編集したもので、52週にわたって世界各国、各地域の祈りが載っています。その中から、少し長くなりますが、シリアの祈りを紹介させていただきます。

平和のうちに、わたしたちは主に願いもとめましょう。——主よ、あわれんでください。

上からの平和を、神の愛であり、わたしたちの魂の救いである あの平和を、主に願いもとめましょう。——主よ、あわれんでください。

聖なる神の教会で働き、実りをもたらす人々に、貧しい人や寡婦、孤児、異邦人その他、助けを必要とする人々を覚え、また、祈りのうちに覚えてほしいと願っている人々のために——主よ、あわれんでください。

老いと弱さを覚えている人々、痛み、落胆している人々、魂に迷いをもつ人々に神の癒しと救いが早く来ますように——主よ、あわれんでください。独身と禁欲を貫く人々、神と結婚している聖職の

兄弟姉妹に——主よ、あわれんでください。海に陸に旅する異国の人たち、また捕らえられ、きびしい奴隷となったり追放されたりしている同胞の兄弟姉妹たちに平和な帰国を——主よ、あわれんでください。

大気により温かさを、平和な雨を、心地よい露を、豊かな実りを、四季の充実を、そして1年が全うされますように——主よ、あわれんでください。そして、苦しみ落胆している一人一人に、神のあわれみと救いを必要としている一人一人のために、また誤った者が悔悛するように、病人が癒され、囚われ人が解放され、離れていった同胞の兄弟姉妹たちが休息を得られますように——主よ、あわれんでください。

わたしたちの祈りが神の前に、聞かれ受け入れられますように、神の豊かなあわれみといつくしみが、わたしたちの上に注がれますように、主に願いもとめましょう。

——主よ、あわれんでください。

この祈りは「聖ヤコブの連禱」といわれるものです。この連禱に併せて、アッシジのフランチェスコの祈り「平和の器」をお届けします。

7月例会(キックオフ) 報告

日 時：7月22日(金) 午後6時30分～

場 所：西那須野教会1階ホール

参加者：メン：田村会長、河野副会長、村田副会長、原田、荒井。メネット：原田、村田、田村。

合計：8名。

7月キックオフ例会は、西那須野教会にて例会を行い、新たな1年のスタートをきることができました。まず、田村会長による開会点鐘のあと、恒例のカレーライスを美味しく頂きました。その後、一年間の年間活動計画や活動理念などを田村会長より発表がありました。活動には那須YMCAとの協働の他に、西那須野幼稚園、西那須野教会、アジア学院、エルム福祉会との協働も含まれ、那須ワイズメンズクラブの原点を再確認しました。また、誰もがブリテンを書けるようにパソコン講座も随時行っていくことにより、ワイズメン育成にも力を入れていくことも共有がなされました。その他、荒井からのYMCA報告、村田メンからの東日本区大会、北東部評議会報告を行いました。最後に、村田メンによる第一回パソコン講座が開かれました。それぞれパソコンを開き、パソコンにまつわる悩みなどを解決していきました。

キックオフ例会では、那須クラブの原点を再確

認し、新たな1年の歩みを踏み出すことができました。1年間の行事計画を別ページ添付いたします。

(記録：荒井)

7月役員会報告

日時：7月6日(水) 18:30～

場所：ココス西那須野乃木店

出席者：田村会長、河野副会長、村田副会長、村田メネット、

協議事項

1. 2016～2017年度事業計画について
田村会長より提出された資料に基づき協議する。

副題「高齢化と広域化の問いを問いつつ」

- ①青少年のために一例「身につけたい救急法」
- ②高齢者と家族のために一例「認知症パート2」
- ③歳時記一例「日本伝統お茶のお点前」
- ④パソコン事始め一例「初めて手にするパソコンの使い方」
- ⑤那須疎水一例「歴史と史跡を巡る」
- ⑥その他

2. 7月例会の件

7月22日(金) 午後6時30分～。場所：西那須野教会。内容：①キックオフ例会・新年度事業計画、会長方針及び会員の抱負。②パソコン講座 食事はカレーとする。

3. 8月役員会について

8月5日(金) 午後6時30分より西那須野教会にて開催する。

協議内容は8月例会、9月例会、北東部部会、その他、ブリテンの原稿

4. 8月号ブリテンの内容について

西那須野幼稚園、学校法人アジア学院で掲載をする。巻頭言は、田村メン。「ユースリーダーのつぶやき」。

5. 第1回北東評議会出席の件

村田副会長が出席。

7. その他

・那須YMCAの活動として、大田原地域における学童保育・こども食堂の状況の調査を開始。

旧西那須野(那須西原)の緑と水(41回)

田村修也

前号の請願書は副申書を添えて提出されました。「那須原水路開さく願副申」です。

別紙奉願候那須原水路仕様の如く、赤田山麓まで、官に於て御疏さく被成下候得ば、夫より差向、三島弥太郎外数名、野沢泰次郎外数名着手の分は、申合せ、各自自費を以て、疏さく通水可仕見込、尤も右用水は、那須原野開荒の為め、官に於て被成下候上は、那須開墾公共の用水に付、追々開荒着手の者有之節は、官に於て可然配水被成下候様奉願候也。

明治13年9月

那須原水路開さく願人惣代

矢板武

印南丈作

安生順四郎

栃木県令 鍋島幹殿

この願書を受取った鍋島県令は、かねてより那須野が原開拓に関する事情や、水路開さくの必要なことは十分承知のことですから、直ちに内務卿松方正義宛に、次のような伺書を提出しました。

那須原用水路開さく之儀伺

那須原用水路開さくの儀、甲別紙の通り、開墾有志者三島弥太郎外8名より願出候、右は即今の実況必需の事業と相考候間、特別の御詮議有之度、即其事実左に稟述出候。

那須水路は、開荒及び物産の為、第一着の基業たるは、嘗て詳具の上、開さく通船の儀上申仕、即今川々水量日測中に有之、然る処、追々該原野開荒に着手の者有之、既に三島弥太郎外数名は、本年8月より着手候処、實際果して水利に差支へ、井戸を掘るも深井、幸にして出水あり一時渴を凌ぎ得るも、冬季は枯渴、到底終歳の用をなすは無覚束由。幸にして枯渴せざるも、深井にして水量少許、僅かに数人の飲料に供するに足るのみ、(とて)も牛馬耕耘、及び牧畜等に供する能わず、

殆んど困却の場合、猶即今着手候開墾有志矢板武外数名も、兼て水路の必需なるを主唱、是迄奔走尽力候処、今親く其实況を目撃、益々水路の急需なるを信じ候より、三島弥太郎と協議、更に軽便少量にして、疏さくし得べき水路を求めんと、百方搜索候趣の処、別段なる良脈を得ず、矢張先般上申候、岩崎村中、那珂川より疏さくすべき水路の外無之、仍(よって)而右工事を縮少費用を省略、取調候処、新さく水路岩崎村那珂川より、那須西原赤田山上まで、8360間8分、此費金22707円余にて出来候由、右費額は、該原開墾有志者にて、自便可相成哉と調査候処、各自着手の始め、諸般の費用不少、且該原は、通常の開墾地とは其難易大に異り、(数里の原中、村落へ

は遠隔萬事不便、従て費用多し）候場合にて逆も自力難及相考候。

右工事仕様は、略図赤田山麓に止め候は、必意出願者の趣旨は、可及的自費開さく致度見込にて、既に取調もなしたる処、前述の次第、不得止請願候儀につき、右赤田山迄通水相成候得ば、各自開荒場へ通疏の分は、自費を以て掘さく候見込の由、乙別紙の通り申立候。就ては、其配水の儀は、図上記載を準拠として、追て公平配水の見込に有之候。

右縷述の実況にて、目下難差置場合、且勸農局御試験地も、水利無之ては、到底馬牛耕耘の為め、實際御差問（つかえ）必然の事、將た那須牧場に於ても、従前の小溝にては、通水不十分に、頗る困難罷在候場合に付、此水路開策相成候得ば、一挙して、那須原着手の事業、尽く便利を得、且目的を達するを得るに至る、実に必需の事業と相考候間、特別の御詮議の上、右疏さく被成下度、仍て、図面2枚、願書2冊、相添相同候也。

明治13年9月

栃木県知事 鍋島 幹

内務卿 松方正義 殿

この鍋島県令の伺に対しまして、政府においてもその必要を認めて、許可することになりました。明治14年1月10日附を以て、次のような指令が交付されました。

書面水路開さく願の趣、特別の訳を以て、資本金22707円被下渡候条、用水使用の者一統協議の上、開さく事業着手の順序見込相立猶可申出事。

明治14年1月10日

栃木県令 藤川 為親 印

前県令鍋島 幹は、13年12月に退職して、大書記官藤川為親が、代わって県令になっていました。（以下次号へ続く）

西那須野幼稚園だより

学校法人 西那須野学園 西那須野幼稚園
園長 福本光夫

先日の研修会で、日本総合研究所の池本美香さんの「次世代の国づくり」という講演がありました。その中から二つの話題を皆様を紹介します。

ひとつは子育て支援と公共投資についてです。日本は特に脳の可塑性の高い時期に公共投資が余り行われていない。ということです。以前は、公共投資が行われていなくてもそれに替わるものと

して、コミュニティの支え合いや自然環境があったのではないかとことです。従来型のコミュニティの消失した現在、子育てに関して、先進国フィンランドはネウボラ制度で対応しています。日本でも那須塩原市同規模の三重県名張市、世田谷区、そして浦安市など、子ども・子育てを大切にしている自治体では積極的に取り組まれているところですが、今回紹介されたのは、スコットランドでした。妊娠から3歳までの子どもの大切な時期に子育て支援が実施されているとのこと。日本は6人に1人の子ども、1人親世帯の半分以上がが相対的貧困におかれています。経済的困窮という大変な環境にある子どもたちも少なくありません。どの家庭に生まれてもお母さんのお腹にいるときから、同じライフ・チャンスが保障されるような国・市による取り組みの必要性を強く感じます。本園もこひつじ保育園と協働して微力ですが、本園なりの子育て支援に取り組んでいるところ。幼稚園教諭・保育士だけでなく大学の先生や助産師さんにもお手伝いをいただいています。

二つ目もスコットランドにおいての話ですが、野外活動中心の施設の割合が最高ランクを受けた保育施設のなかで高い結果がでた。ということです。日本も以前は地域に自然があり、そこで異年齢の子どもたちが遊ぶという「となりのトトロ」のような環境がありました。本園も山林観察、園野外活動センターを設け、開園以来、自然との関わりを大切にしてきました。那須塩原市からは付属施設は除染対象としては認めないということで、東電原発事故以来、それらの施設は利用できていません。子どもたちにとってこれらの活動がこの地域で行えていない事は大変残念です。園庭に放射能汚染されていな森を作ることも考えるこの頃です（しらゆり 2016. 7. 15 加筆修正）。

アジア学院だより

学校法人 アジア学院
校長 荒川 朋子

平和について考える

あるキリスト信者の夏期信仰修養会に参加してきた。長い歴史を持つ会で高齢の方が大半を占めるのだが、今年は若い世代からの話をじっくり聞くということになり、東北の被災地で4年間に亘って被災者の支援活動を担ってきた方、1年間大学を休学して沖縄の辺野古で活動してきた大学生、

会社で働きながら違和感や社会の閉塞感などを感じている若い社会人がスピーカーとなり、彼(女)らの心の奥深くの思いをじっくり聞くことができた。その合間、合間に経験豊かな人生の諸先輩方や韓国の友人たちからの証や聖書研究などがあり、実に内容の濃い3日間だった。

一貫していたテーマは「平和」であったのだが、全ての方々が語られたことの中で共通していたことは、神様が人間に与えた最も大切な掟の1つである「自分を愛するように隣人を愛せよ」という教えが、平和を作り出すために私達に何ができるかということを考えて場合においてもいかに重要であるか、ということであった。様々な支援が打ち切れようとしていて新たな課題が浮かび上がっている東北の被災地においても、今まさに機動隊や海上自衛隊と、地元住民や反対運動をしている人たちが一触即発の沖縄においても、人間を効率と業績だけで評価しようとする非人間的な会社社会においても、「自分を愛するように隣人を愛する」ことがたとえわずかであっても実行されれば、平和は少しずつ作りだされるのではないかと思った。

そして閉会礼拝では、日本バプテスト連盟が今年4月に出版した「平和のつくりかた」小さな冊子が紹介された。その前書きには「『憲法を変えて戦争ができる国にしよう。戦争をするために法律をその前に作っちゃおう。』そうやって今、この国はどんどん、戦争へ戦争へと突き進んでいます。同時に、この国では人間の尊厳がますますないがしろにされ、人々の生活が圧迫されつつあります。しかし、イエス・キリストを信じる教会は、どんなときも平和をつくりだすように招かれています。その方法を考えてみよう。ひとりひとりが、そして教会がすぐに、具体的に、できることを考えてみよう。そんな思いで、こんなブックレットを急いで作ることにしました。」とあります。そして12の方法が紹介されています。

1. 対話する
2. 生き方が選べる
3. みんなで分かち合う
4. みんなで助け合う
5. 歴史に向き合い、学び、出会う
6. 「いやだ!」といおう
7. 子どもや弱者・少数者を大切に
8. どの神さまを信じて、信じなくても大丈夫
9. 人間の命を大切に第一にする

10. 戦争に向う動きに気づく

11. 希望をさがす

12. 今、できることをする

ここでは項目しか書けませんがとても具体的で今すぐにでもできそうなことがたくさんありました。そしてその行動の根底に「自分を愛するように隣人を愛せよ」という神様の掟がとても強くあることがわかります。

8月は平和を考える月間ですが、ひとつでも具体的なアクションを起こすことが重要だと感じています。

今後の予定

・第72回国際大会・国際ユースコンベンション

日時：8/1～8/7

場所：台北

・8月役員会

日時：8月5日(金)午後6時30分～

場所：西那須野教会

内容：8月例会、9月号ブリテンの発行等。パソコン講座

・8月例会(納涼例会)

日時：8月27日(土)午後6時30分～

場所：原田ワイズ宅

内容：メンバーの持ち寄りによる。ユースリーダーとアジア学院関係者を招待。

・北東部会・もりおかクラブ10周年記念例会

日時：9月17日(土)午後1時～

場所：ホテルメトロポリタン盛岡

参加費：9,000円(震災復興募金含む)

・9月役員会

日時：9月2日(金)午後6時30分～

場所：ココス西那須野乃木店

内容：9月例会、10月予定の確認、ブリテンの発行等。

・東京目黒クラブの予定

8月例会：8月27日(土)村野ワイズ宅

9月例会：9月14日(水)午後1時30分～

第1回北東部評議会報告

副会長 村田 榮

7月16日(土)午後1時から5時30分までの日程で2016～17年度第1回北東部評議会が盛岡「岩山GENKI」で21名の出席で開催された。主に協議した事柄は、2015～2016年度第3回評議会記録の確認、2016～2017年度北東部長方針・活動計画並びに事業主査方針・活動計画、各クラブ会長方針・活動計画が報告された。2015～2016年度決算、2016～2017年度東日本区・北東部行事等日程表、2016～2017年度北東部収支予算、第20回北東部会の開催の件については承認された。北東部のバナーの件と部運営体制・部長選任方法については各クラブでの協議が必要とのことで継続審議となった。部ユース事業の在り方については関係者で確認し実施することで承認された。みちのく盛岡は大変遠いと再確認した一日でした。

熊本地震の報告

ワイズの皆様

ご協力いただいた皆様

ワイズメンズクラブ東西日本区その他多くの皆様の支援金からご援助いただきながら

地震1月後の5月18日から、熊本YMCAがその運営の中心となってきた益城町最大の避難所である総合体育館で夜間の健康相談や体調不良者の対応に当たってきましたワイズ支援事業が、7月末をもって一旦終了することになりました。NGOシェア(国際保健協力市民の会)の本田徹代表、仁科晴弘医師の助言協力をいただきながら、東日本大震災の救護経験もある訪問看護ステーションみけ様(東京墨田区)と同コスモス様(台東区)からボランティアの看護師さん十数名が交代で夕方から翌朝まで1日も欠かさず夜間対応に当たっていただきました。多い日には10名以上の夜間健康相談や緊急の対応事例があり、避難者の安心に大きく寄与するとともに、避難者の対応に不眠不休で当たられたYMCAスタッフの負担軽減に大きく役立った事業でした。

夜間当直に当たられた看護師さんは、両看護ステーションのご配慮で、全くのボランティアでした。改めて心より感謝申し上げます。ワイズの皆様から頂きました支援金は、看護師さんの移動のための交通費等に当てさせていただきました。ワイズ

の支援がなければ実施が困難な事業だったと考えます。仮設住宅が相次いで完成していますが、まだ多くの避難者が残されている状況での撤退というかたちになり心苦しいのですが、ご協力いただいた訪問看護ステーションも通常業務を行いながらの中での人材派遣で、かなり無理をお願いしておりました。避難所から昼間に休んでいただく子どもの保健センターへの送迎を担当していた養生園の職員も業務が多忙になり限界が近づいておりました。避難所も初期に比べ落ち着きを取り戻しています。多くの皆様の支援をいただきながら新しい形の支援のあり方を実践できたのではないかと考えています。今後も別な形での支援も視野に入れながら区切りをつけさせていただきます。ありがとうございました。

熊本むさしクラブ 入佐孝三(菊池養生園)

YMCA報告

【YMCAイングリッシュ那須サマーパーティを開催しました!】

7/16(土)に、YMCAイングリッシュ那須に通っている子どもたち向けに、夏休み前のサマーパーティを行いました!子どもたち29名が参加してくれました。英会話講師のShallon、Liz、Josh、Johnと一緒に、普段のクラスとはまた違う雰囲気ですワイワイ楽しんでいきました。様々なクラスに通っている子どもたちが集い、歌や、並び替えゲーム、風船ゲーム、Jenka、スナックタイムなどを楽しみました。子どもたちもいつものクラスとは違った様子で大はしゃぎでした!また、スナック



タイムはブラウニーサンデーをみんなで食べました。Shallon手づくりのブラウニーに、アイスクリームやチョコレートなど

トッピングをしていきました。「Cup please」や「Brownie please」、「Ice cream please」など、英語で先生とやりとりしながらトッピングしていました。子どもたち、英会話講師、アシスタントスタッフのそれぞれが、互いに交流し、サマーパーティを楽しめたのはとても素敵なことだと感じました。この度は素敵な時間のために、皆様のご協力・ご理解を頂きどうもありがとうございました。皆様の実りある夏休みになるようにお祈りし、

また2学期、クラスでお会いすることを楽しみにしております。

【とちぎYMCAサマープログラムがスタートしました!】



夏が始まりました!! 「夏」と言えば、YMCAのサマープログラムです! 今年の夏は、YMCAお馴染みのキャンプ以外に、デイキャンプスクールや水泳教室など、7月中旬から8月末まで次々とプログラムが展開されます。

また、那須YMCA

ボランティアリーダーが今年の夏も子どもたちのために準備を進めています。今年度は更にリーダーたちの磨きかかった心の熱いキャンプになっていきそうです。

【とちぎYMCA・那須YMCAの8月の予定】

・8/8(月)~9/8(木) 南投YMCA(台湾)より学生がとちぎに来て、介護実習しにきます。

・8/15(月)~22(月) フィリピン ナボタスタラ交流キャンプ

・8/20(土)~21(日) 清原の杜地域体験キャンプ(宇都宮市清原地区主催、荒井がプログラム指導)

・8/27(土) サタデークラブ@西那須野幼稚園(染め物体験)

・夏休み期間中、サマープログラムとしてキャンプやスクール、短期水泳など計11プログラムが実施されます。

・那須YMCAの英会話、サタデークラブ、西那須野幼稚園運動あそびなどは、8/26からスタートします。

ユースリーダーのつぶやきコーナー

今月は、プログラムで忙しくお休みと致します。

編集後記

ブリテンの発行が今月も予定より遅くなり、申し訳ありません。原稿が予定通り集まることを期待するのみです。

16-17年度 那須ワイズメンズクラブ年間計画

標語: 拓こほ 築こほ ワイズの世界

月	第二例会日	司会	例会内容	東日本区 月間テーマ	北東部 月間テーマ	ブリテン 出筆担当	備考
7	7日(木) 22日(金)	田村	キックオフ 年間計画・PC講座	キックオフ・JEF	半年報 7/10まで 第1回評議会 7/16	河野	7日(木)役員会コスにて盛岡
8	5日(金) 27日(土)	村田	PC講習会 キャンプ場下見・納涼例会	前期会費納入(8/30) CS		田村	役員会は教会で、
9	2日(金) 23日(金)	河野	北東部会(盛岡)参加 日本の文化に触れる(茶道)	東日本区費送金 EMC-MC	Y-Usフォーラム11-13 北東部会 8/17(土)	村田	部会&盛岡G10周年記念・オロポリタン盛岡
10	7日(金) 8日(土)	荒井	目黒クラブ50周年記念例会参加 アジア学院収獲感謝日参加(土・日)	メネオ・EMC-E		荒井	
11	12日(土) 25日(金)	田村	那須街道赤松林植樹(植樹及び役員会) (知っておきたい救急法・KG造形展出店)	IBO DBX(11/10ワイズデー)	第2回評議会11/26	原田	仙台 造形展11月5日(土)
12	2日(金) 16日(金)	村田	クリスマス例会	国際投票		村田	
1	6日(金) 20日(金)	鈴木	新年例会	次期役員研修会(東京) BF-EF	半年報送付1/10まで	鈴木	
2	3日(金) 24日(金)	河野	講話(認知症の予防と対策)	後期会費納入(2/28) TOF		河野	
3	3日(金) 24日(金)	原田	3.11希望の風揚げ「3月6日(日)」 リーダー報告会	YIA-YEEP STEP 次期会長研修会(東京)5-6		原田	
4	7日(金) 29日(土)祝日	鈴木	(那須野が原開拓と那須疏水探訪) 植樹活動と清掃ハイキング	LT BF現金納期 4/30	第3回評議会 4/22	田村	宇都宮
5	5日(金) 26日(金)	田村	那須YMCA総会出席 奉仕活動	EF-JEF現金納期5/15 YMCAサービス ASF		荒井	
6	2日(金) 23日(金)	荒井	東日本区大会及びチャリティランへの参加 役員引継ぎ	第20回東日本区大会6月3日(土)4日(日)川越		鈴木	

OKクラブ役員

役員会:第1金曜日
 副会:第4金曜日

- 会長 田村修也 0287-36-1993
- 副会長 村田榮 0287-77-3103
- 副会長 河野順子 0287-22-5380
- 書記 荒井浩元 080-1140-5600
- 会計 鈴木保江 0287-43-0183
- 090-2311-0024
- ブリテン 村田 榮 090-9095-4035 田村修也 090-5545-6763
- 地域奉仕 田村修也 村田 榮
- 会員増強 原田時近 0287-45-1544、090-1127-0524
- ユース 荒井浩元 028-624-2546
- 担当主事 荒井浩元
- 国際交流 河野順子 090-1997-2077

※那須ワイズの16-17年度の活動計画を作成いたしました。那須ワイズの特徴ある活動を継続して地域に働きかけながら会員の増強に努めてまいりましょう。

の東京目黒クラブとの交流促進のARI-KG・エルムとの連携促進のブリテン活用(元会員と那須Y等)に那須Yとの連携促進のシイタクコンプの取組扱い

北東部専業:第3回ユースリーダーズ・アウト(兼・波茨坦少年サッカー交流)の開催、相馬野馬追に参加(福島と共に元気を取り戻す行動を開始する)。